

2023/09/12 (火)

朝の礼拝

聖書 ルカによる福音書 12章 6-7節 (新約聖書131頁)

五羽の雀がニアサリオンで売られているのではないか。だが、その一羽さえ、神がお忘れになるようなことはない。それどころか、あなたがたの髪の毛までも一本残らず数えられている。恐れるな。あなたがたは、たくさんの雀よりもはるかにまさっている。

雑草という草はない

人間は雀よりもはるかにまさっているのでしょうか。人間は雀のように空を飛べるのでしょうか。飛べません。その点では雀は人間にまさっています。「雀よりもはるかにまさっている」というのは、人間には神が与えられたすべてのいのちに責任があるという意味です。

五羽の雀がニアサリオンで売られているとありました。一羽の雀が約八十円となります。何でもお金で換算するのは人間が考えた物語です。そもそもいのちをお金に換算できるのでしょうか。だから「その一羽さえ、神がお忘れになるようなことはない」とあるのです。

「日本の植物学の父」と呼ばれる牧野富太郎は「世の中に“雑草”という草は無い。どんな草にだって、ちゃんと名前がついている」そして「わたしは雑木林という言葉がキライだ」とも言っています。私もひとを代名詞や、苗字だけで呼ぶのは好きではありません。

あなたは無二の存在なのです。そして「それどころか、あなたがたは髪の毛までも一本残らず数えられている」とも言われています。これは最後まであなたと共にいるという意味です。あなたが喜びの時にも、悲しみの時にも、永遠にあなたと共にいるという意味です。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、あなたはすべていのちあるものを忘れないと言われました。どうか生きることの困難にある人たちへ慰めと励ましをお与えください。特に大地震により救出活動が続けているモロッコの人々の必要を満たしてください。また英和祭を献げることができた恵みを感謝します。特に英和祭のため自らを献げた英和生たちに祝福を与え、献げられたものが必要な人々に分かち合われますように祈ります。そして感染症など体調を崩している英和生がいます。どうか彼らに癒しと励ましを与え、ひと時でも早く回復し共に感謝をささげられようと祈ります。どうか今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン